



平成31年2月19日

平成30年度第10回定例記者会見

日時：平成31年2月19日（火）11:00～12:00

場所：豊橋技術科学大学事務局3階 大会議室

<記者会見項目>

- ① 手のひらサイズのチップ上で 複数種のウイルスの簡便かつ迅速検査へ道
～マイクロ流路デバイスによる高精度な液体制御技術を実現～
【機械工学系教授 柴田 隆行】（別紙1参照）
- ② 学内外に向けたデータサイエンス教育の強化
～文部科学省「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」協力校に選定～
【理事・副学長 寺嶋 一彦／情報・知能工学系 系長・教授 栗山 繁
情報メディア基盤センター センター長・教授 井佐原 均】（別紙2参照）
- ③ TEDxToyohashiUT 2019
プレゼン形式のカンファレンスイベントを開催します
【TEDxToyohashiUT 実行委員オーガナイザー
マーティンセン・マイケル誠】（別紙3参照）
- ④ 豊橋技術科学大学アカペラサークル J. U. S. T.
「A Cappella Live」開催のお知らせ
【アカペラサークル J. U. S. T. 中山 功太】（別紙4参照）
- ⑤ 平成31年度 豊橋技術科学大学 ビジネススクール開講
～Tokai-EDGE プログラムにおけるアントレプレナーシップ講義～
【総合教育院 教授 藤原 孝男】（別紙5参照）
- ⑥ 文部科学省研究大学強化促進事業 第6回豊橋技術科学大学シンポジウム
未来へのボーダレスな挑戦 ～組織・地域の垣根を越えて～ 開催のお知らせ
【研究推進アドミニストレーションセンター】（別紙6参照）
- ⑦ 平成30年度最終講義について（ご案内）
【教務課教務係】（別紙7参照）
- ⑧ 平成31年度定例記者会見の開催日程について（別紙8参照）

<本件連絡先>

総務課広報係 前田・高柳

TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



平成31年2月15日

**手のひらサイズのチップ上で
複数種のウイルスの簡便かつ迅速検査へ道**
～マイクロ流路デバイスによる高精度な液体制御技術を実現～

<概要>

豊橋技術科学大学 機械工学系 柴田隆行教授らの研究グループは、手のひらサイズのチップ上で、複数種のウイルスの迅速かつ簡便な検査を可能にする「マルチプレックス遺伝子診断用チップ」を開発した（図1参照）。現在、本開発チップの応用展開として他機関との共同研究を開始している。具体的には、①東京慈恵会医科大学（嘉糠 洋陸 教授）とは、節足動物（蚊やマダニなど）が媒介するウイルスによる感染症（デング熱，ジカ熱，重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など）の遺伝子検査を迅速かつ簡便に行うための感染症診断デバイスの開発を目指している。節足動物媒介性ウイルスは蚊やマダニを媒介として脊椎動物に伝播されるウイルスの総称であり、世界各地に存在している。特に発展途上国ではこれらのウイルスによる感染症（節足動物媒介感染症）が社会問題となっており、感染源を早期に発見するための技術開発が喫緊の課題となっている。また、②愛知県農業総合試験場とは、愛知県の重要な農作物である野菜，花卉などの病害虫について、チップ上で簡易かつ短時間に複数の病害診断を行うことのできる検査システムの開発を目指している。DNA マーカーを用いた迅速かつ的確な病害虫識別・診断技術は、農作物の安定生産に欠かせない技術となる。

<詳細>

図1に本研究で開発したマルチプレックス遺伝子診断用チップの外観写真を示す。マイクロ流路はシリコン樹脂（PDMS）であり、ガラス基板と接合されている。図は、食紅で着色した純水をマイクロ流路内に導入したときの様子である。マイクロ流路内に単純な凸構造を設けることによって、溶液の混合（流路長さ 7mm 程度で混合効率 90%を達成）および反応容器に溶液を高精度に分注することに成功した。

遺伝子診断技術としては、栄研化学株式会社が開発した等温遺伝子増幅法（LAMP 法）が広く利用されている。本手法は、一定の温度（60～65℃）で遺伝子増幅が行えることから、特別な装置を必要とせずに現場でも実施ができる簡易な検定法である。しかし、LAMP 法は原則として 1 反応 1 マーカーで行われるため、複数の検体（ウイルス）の診断を行うためには診断対象の数だけ反応を行う必要がある。そこで、本研究では、微細加工技術を用いて、マイクロデバイス上に複数の反応容器を形成することで、LAMP マーカーによるマルチプレックス診断を可能とする遺伝子診断用チップの開発を目的としている（図2）。

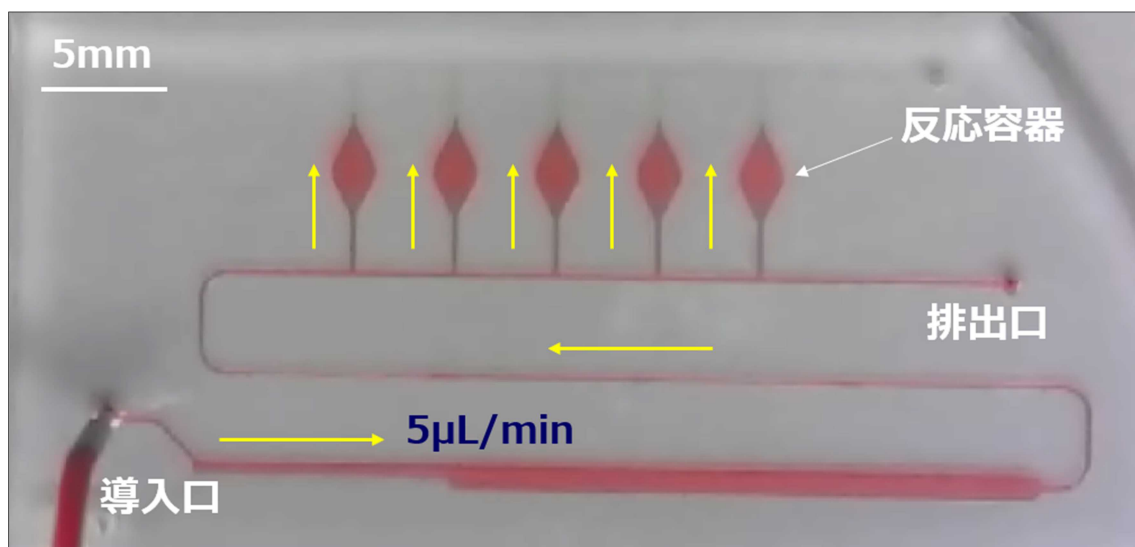


図 1 マルチプレックス遺伝子診断用チップの外観写真（反応容器に溶液を均等に分注）

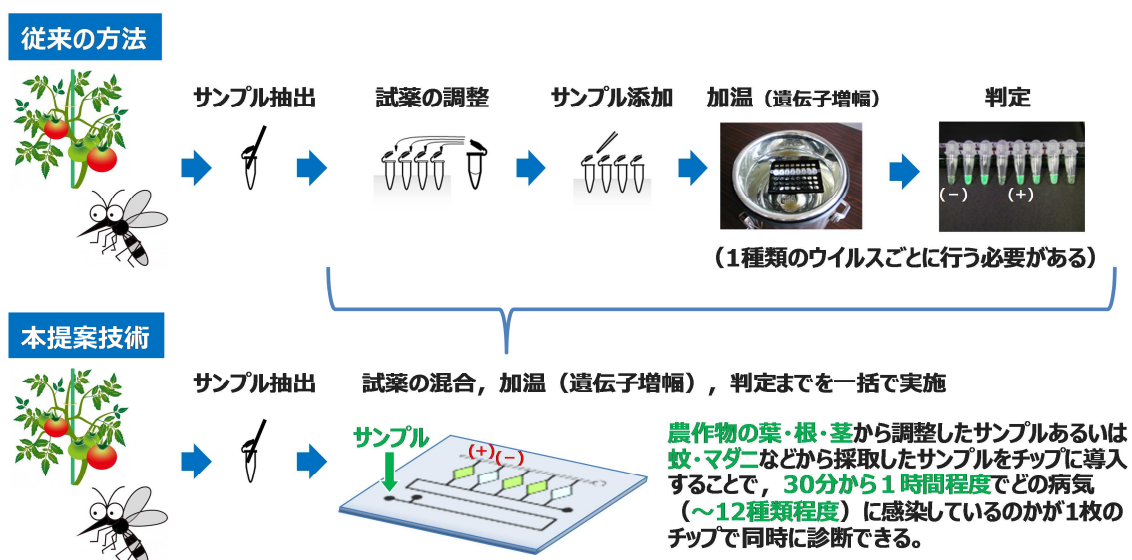


図 2 遺伝子増幅（LAMP 法）による病害診断（従来法と本提案技術との比較）

図 3 に本研究で提案するマルチプレックス遺伝子診断手法の概念図を示す。節足動物や植物・土壌サンプルから採取した遺伝子サンプルと遺伝子増幅試薬をマイクロ流路内（幅 100～200μm，高さ 70μm 程度）に導入し、混合部で 2 液を効率よく混合させる。その後、複数の検出部（遺伝子増幅を行う反応容器）に均等に分注して遺伝子増幅（LAMP 法）を

行い、蛍光検出によってその増幅量を定量化する。各検出部には予め種々のウイルス（例えば、デング熱、ジカ熱、植物病害ウイルス、など）に起因する遺伝子を増幅するためのプライマー（LAMP マーカー）を固定化しておくことで、複数の検査項目を 1 つの診断チップ上で簡便かつ迅速に実現することが可能となる。

本デバイスを開発する上で重要となる技術的課題は、①煩雑な操作とスキルが不要で誰にでも簡単に扱えるものであり、かつ②単純なデバイス構造とすることで安価に作製が行えることである。

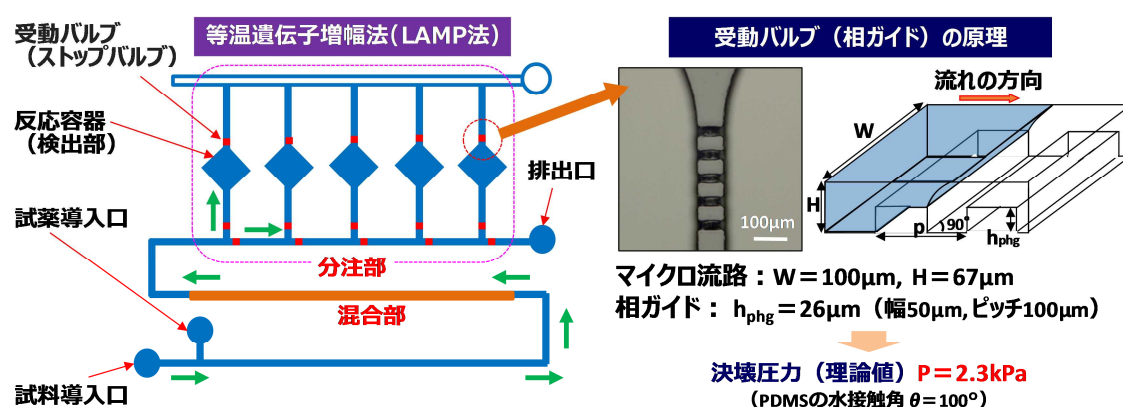


図 3 高精度な液体制御技術によるマルチプレックス遺伝子診断手法の概念図

＜今後の展望＞

今後は実用化に向けて以下の技術を開発する。

- (1) 微細金型を用いたプラスチック射出成形による安価なチップ製造技術の開発
- (2) スマートフォンで検査可能な簡易遺伝子診断装置の開発
- (3) 顧客ニーズに応じて検査対象のウイルスの種類を自由自在にカスタマイズ

ファンディングエージェンシー：

本研究は、株式会社テクノサイエンスからの共同研究経費の支援を受けて実施されたものです。

会見にて柴田教授より本研究の詳細について発表します。

本件に関する連絡先

研究担当：機械工学系 教授 柴田 隆行 TEL:0532-44-6693

産学連携担当：RAC 特定准教授／URA 土谷 徹 TEL:0532-44-1561（内線 5350）

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506



平成31年2月15日

学内外に向けたデータサイエンス教育の強化

～文部科学省「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」協力校に選定～

<概要>

豊橋技術科学大学では「技術を科学する」という建学精神に基づき、データサイエンスを科学からものづくり技術へと展開できる人材を育成します。様々な工学分野で技術を定着させるための e-Learning 教材を開発し、包括的な専門科目を新設し、本学および他大学、高専、企業へ展開します。

<詳細>

文部科学省の「大学の数理・データサイエンス教育強化方策推進検討委員会」による評価を経て、本学は「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の協力校に選定されました。

作成する教材：

- ・データサイエンスを専門とする学生だけを対象とするのではなく、全学の学生や研究者が自らの分野の研究にビッグデータを活用できるようにする短期間集中型の講義を開設します。
- ・通常の授業で利用できる教材を作成するとともに e-Learning 教材も作成し、独習を中心に短時間の講義でデータ処理ツールを利用可能とすることにより、専門分野の学習に影響を与えることなく、データサイエンス技術の活用法を習得できるようにします。

企業や高専との連携：

- ・教材作成においては、学内の専門教員が内容を取りまとめる際に、データサイエンスに関するトレーニングコースを実施している企業の知見も含めます。これにより、より実践的で習得しやすい教材となる様に工夫を重ねていきます。
- ・これまでの高専との連携を活かし、高専への教材提供、e-Learning配信、単位互換（認定）を行います。また近隣の大学との連携も計画中です。

<今後の展望>

本事業の達成により、データサイエンスそのものを研究分野としない学生が自分の分野の研究にデータサイエンス技術を利用できるようになります。これにより他分野・異分野での研究のブレークスルーが実現し、学問的な波及効果が期待できます。開発する教材は独習型の e-Learning 教材であり、教育機関に限らず、企業等でも利用可能です。遠隔授業と本学のスパコンを用いた短期間の講義により、企業での学習が可能であり、社会的な波及効果が期待できます。

本件に関する連絡先

担 当：情報メディア基盤センター 井佐原 TEL:0532-44-6622

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

- 文部科学省の「大学の数理・データサイエンス教育強化方策推進検討委員会」による評価を経て、

「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」の協力校に選定

(全国20大学。近隣では名古屋大学と静岡大学)

- 「技術を科学する」という建学精神に基づき、データサイエンスを科学からものづくり技術へと展開できる人材を育成
- 様々な工学分野で技術を定着させるため e-Learning 教材を開発し、包括的な専門科目を新設
- 本学のみならず他大学、高専、企業へ展開

数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/index.html>

数理・データサイエンス教育が未来社会を拓く

数理・データサイエンス教育強化を目的として国立大学に設置されたセンターが結集して、各大学内での数理・データサイエンス教育の充実のための取組成果を全国への波及させるための活動を推進し、数理・統計・情報を基盤として未来世界を開拓できる人材の育成を目指します。

1

活動計画

- データサイエンスの全学的な普及
 - 情報系の学生だけでなく、全系の学生・研究者が自らの分野の研究にビッグデータを活用できる短期集中型講義の開設
 - 電子教科書(E-Learning 教材)を用いた独習と、データ処理ツールを用いた実践的指導
 - 様々な専門分野で役立つデータサイエンス技術の習得
- 企業や大学・高専との連携
 - 高専との連携: E-Learning 教材の配信、遠隔授業、単位互換認定等
 - 大学との連携: 近隣大学、東海地区ブロック協力校(名大、静大、長岡技大、新潟大)
 - 近隣企業との連携: 教材の公開、セミナー、技術相談会等
 - 関連企業との連携
 - トレーニングコースを参考とした実践的な教材の作成
 - 専門家講師の招聘、講演会

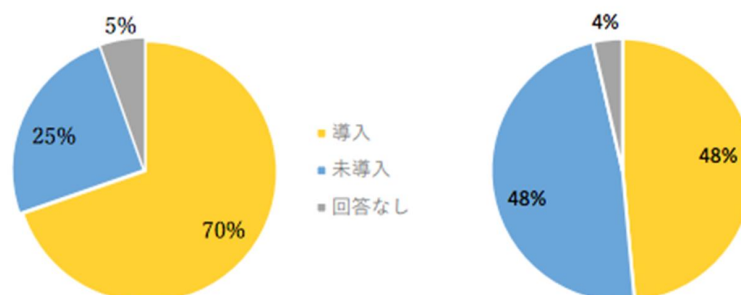
- 全ての学生が自分の研究にデータサイエンスを活用できる
 - 分野横断的なブレークスルー、学問的な波及効果
- E-Learning 教材を用いた実践的な教育
 - 企業等でも利用可能
 - 遠隔授業への展開が容易
 - 実習の予習・復習にも活用

展望:

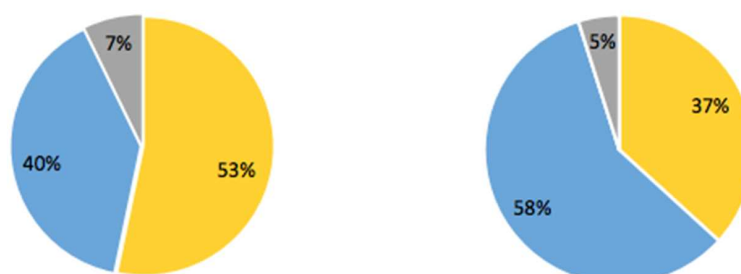
- データサイエンス教育・研究組織の充実化
 - 計算機設備の拡充
 - 専門家人材の確保
 - 一般教養教育としての確立

3

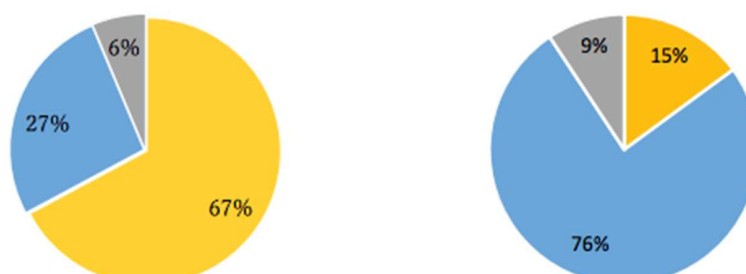
1-1. 教養教育における数理教育の実施状況 (左: 全学または学部単位, 右: 全学対象)



1-2. 教養教育におけるデータサイエンス (DS) 教育の実施状況 (右: 全学対象)



1-3. 学部専門教育におけるデータサイエンス (DS) 教育の実施状況 (右: 全学対象)



出典元: 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム
数理・データサイエンス教育状況調査報告書(概要)

7

【事業概要】

「技術を科学する」という建学精神に基づき、データサイエンスを科学からものづくり技術へと展開できる人材を育成する。様々な工学分野で技術を定着させるための電子教材を開発し、包括的な専門科目を新設し、本学および他大学、高専、企業へ展開する。

カリキュラム・教材作成

拠点校作成教材
(東大、京大等)

豊橋技科大作成教材

知見の共有・
評価

e-Learning教材

研究

豊橋技科大の経験

教育

ブレインサイエンス・ロボティクス
などの研究の蓄積

・プログラミング演習
・ソフトウェア演習



・センサ技術 ・ロボティクス



社会人向け
データサイエンス教育
平成29年度から実施

ものづくりへの展開

学内への展開

2年生全学必修
ICT基礎

3年生全学選択
ICT応用

学部関連科目
への展開

受講学生数:500名
単位認定者数:200名

事業の
普及

近隣大学への展開



高等専門学校
への展開

20校程度

e-Learning発信
・単位認定

本学のクラス
タ計算機を使った
演習



近隣企業への展開

自動車産業、先端農業など





平成31年2月15日

TEDxToyohashiUT 2019 プレゼン形式のカンファレンスイベントを開催します。

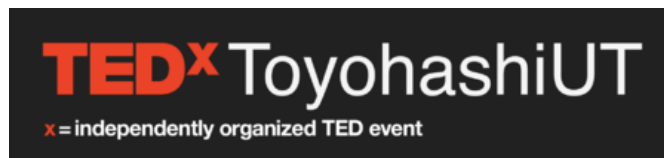
<TEDxToyohashiUT について>

本学学生が主体となり、豊橋技術科学大学から日本および世界に向けて、TEDx を通して独自性のあるア

イデアを発信したいという強い願いから、2018 年 5 月にメンバーを構成し、同年 7 月に、ライセンスを認定された University 枠のコミュニティ（非営利団体）です。

また、本年度、本学の課外活動団体 TEDxToyohashiUT 実行委員会として認証されました。

TEDx の豊橋での開催は初となります。



<イベント詳細>

開催日時 : 3 月 17 日（日）12 : 00～18 : 30 終了予定
場 所 : 学内の講義棟（A-101 : 100 名未満）
テーマ : Surf the future（未来への波に乗れ）
スピーカー : 約 5 名（一人につき約 15 分）
参加人数 : 約 120 名（観覧＋企業＋スタッフ）
内容 : トークセッション、ブレイクタイム、アフターパーティ
参加費 : 1500 円
申込み URL : <https://www.tedxtoyohashiut.com/>
後 援 : 豊橋技術科学大学

TEDx では、本番会場には 100 人未満というルールがあるため、別会場でのパブリックビューイングを予定しています。

イベント終了後は、スピーカー・参加者・スポンサーを含め、意見交換など交流を深めるためのアフターパーティを実施します。

<報道について>

TEDx に関する記事掲載および当日のご取材に関しましては、TEDx の規則がありますので、必ず事前にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

お問合せ先 : TEDxToyohashiUT 実行委員会オーガナイザー（代表者）

tedxtoyohashiut.pr[at]gmail.com

[at]を@に置き換えてください

報道には“About TED” と “About TEDx” の文字を必ず挿入するように願います。

<TED について>

TED（本部：アメリカ・カリフォルニア）は、Technology Entertainment Design をテーマに、功績あるスピーカーが世界各国から集まった参加者にプレゼンやスピーチを行う世界的価値の高いカンファレンスです。

<TEDx について>

TED の“Ideas Worth Spreading”の精神のもと、2009 年から日本で始まり、現在では世界 150 カ国以上で発足しているコミュニティです。

『x』には、独立しているという意味が込められ、TED の正式なライセンスを取得しながらも、人選や運営などに TED は関与せず、独自に行います。TED 同様に様々な分野から出演者を招き、交流を深めるイベントとなっています。

詳細はこちらをご覧ください。<https://www.ted.com/tedx>

会見にて、TEDxToyohashiUT 2019 実行委員会より開催までの経緯や見どころなどを発表します。

本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

TEDxToyohashiUT 実行委員会

豊橋技術科学大学 所属
TEDx リーダー

マーティンセン マイケル誠

1

TEDとは

TED^xToyohashiUT
x = independently
organized TED event



1984年にスタートTEDは「Idea Worth Spreading」のコンセプトのもと、幅広いジャンルのプレゼンテーションを提供していきました。その魅力は、なんといっても著名な登壇者にあると言えます。過去には、U2のボノ、元アメリカ合衆国大統領のビル・クリントン、料理人のジェイミー・オリバーなど、日本でもおなじみの顔ぶれが、それぞれのアイディアを提供してきました。

1

TEDxとは

TEDの普及とともに、世界中にそのファンが急増しました。2009年には、フランチャイズ形式の「TEDxプログラム」が登場。その精神を受け継いだカンファレンスを世界各地で開催できるようになりました。2009 年からの4年間で、TEDxカンファレンスの開催は世界133カ国、1200市 町村にまで拡大し、その数は4300に達しています。日本では、“老舗”の TEDxTokyoやTEDxSeedsの他にも、TEDxSapporo、TEDxKyoto、TEDxTohokuといった、各地方で開催されるもの、TEDxTodai、TEDxKeioSFC、TEDxWasedaなど、大学を中心に開催されるものもあります。

この付近では安城でTEDxAnjoSalon(50)、静岡でTEDxHamamatsu(400人前後)、京都でTEDxKyoto(1500人前後)などが開催されています。

3

リーダー、副リーダー



Michael

岐阜工業高等専門学校から豊橋技術科学大学（TUT）へ編入し、後輩や家族がTUTへ入学したいと思える環境を整備することを日々考えている。その一環としてTUTを盛り上げるべく、地域からアイデアを広げるという理念で動いているTEDxToyohashiUTの実行グループへ参加し、現在奔走中。



Rimu

TEDxToyohashiUTを立ち上げたのは、大学に、そして、豊橋市内にもっと多様な価値が流れまわることを実現したいから。同じく、団体の運営にも多様性を重視し、技科大の留学生をはじめ、様々な背景を持つメンバーを募って、一緒にチーム活動をするなかで新しいインスピレーションを得ながらTEDxから飛躍して欲しい。



20+ のスタッフ

エンジニアリングやテクノロジーを学ぶ、パワフルな豊橋技科大生がTEDxToyohashiUTを築きます。

概要

TEDxToyohashiUT 2019 は豊橋技術科学大学にて3月17日 12:00 開場、13:00 開幕します。

18:00 迄のプログラム構成となっており、計 3 幕の各セッションは 70 分を目途にしております。

合間にはおよそ 30分の休憩を設けており、その間、会場の皆様とのご歓談もお楽しみ下さい。

今回、登壇者は全員で 6 名の予定となっておりますので、1 セッション 2 名または3名の登壇となる予定の時間配分で現在構成中です。

懇親会は 16:20 より開催されます。立食ビュッフェを予定しております。詳細は別途お知らせ致します。

登壇者の皆様にキュレーションされたご招待客を中心とした皆様とご歓談頂き、そこから新たな対話や様々なつながりが生まれることが入っております。

当日スケジュール（適宜変更、調整の可能性もあります）

9:00 - 12:00 - 当日リハーサル、仕上げ確認

9:30 - 9:40 - 集合(場所:ホール内前方)

12:00 - 13:00 - 開場

13:00 -14:10 - セッション1

14:10 - 14:40 - 休憩

14:40 - 15:50 - セッション2

15:50 - 16:20 - 休憩

16:20 - 18:00 - 懇親会(移動)

5

スピーカー



石田 誠

京都大学にて工学博士号を取得。その後、39年間にわたり豊橋技術科学大学に勤務。大学として世界的に類を見ない半導体チップの試作が可能な施設・研究所の設立や、21世紀COEプログラムと呼ばれる文部科学省の事業への採択など。現在も、名誉教授・特別顧問として様々なことに挑戦を続けている。



菅野 流飛

東京高専物質工学科卒業。東京工業大学生命理工学研究科博士課程2009年中退。ベンチャーを渡り歩き、事業部長、事業開発リーダー、COOなどを歴任。2014年より高専キャリア教育活動をライフワークとして行っており、高専生向けキャリア講演会の企画/運営、高専生へのキャリアアドバイス、クラウドファンディングを通じたプロダクト開発支援などを継続してきた。

スピーカー



ロバート・ヒルキ (Robert Hilke)

企業研修トレーナー。元国際基督教大学専任講師。University of California 大学院修了(言語学)。異文化研修およびTOEIC, TOEFL, GREなど、テスト対策のエキスパート。各試験対策講座を国際的な大企業向けに年間約250日行なう。TOEIC 関連セミナーでの教授 歴は30年近くにおよぶ。「TOEIC 200点アップ請負人」として頻繁にメディアに登場、TOEIC対策の第一人者として、多くの受験者の信頼を集めている。著書に、『TOEIC®テスト完全教本 新形式問題対応』(デイビッド・セインと共著、研究社)のほか、『新 TOEIC® テスト「直前」模試3回分』(アルク)など多数。



マーティンセン礼美子 Remiko Martinsen

全国通訳案内士。司法通訳。岐阜県大垣市出身。高校卒業後ハワイへ留学。1988年ホノルル市にて国際法律事務所に勤務し、移民法など民事における通訳・翻訳を担当。1990年帰国後フリーランス通訳・通訳。英検1級, TOEIC985満点, 通訳案内士国家資格取得。英語で子育てをした経験を活かしてTOEIC、TOEFLなど英語検定対策の指導と海外高校・大学留学中の学生サポートに従事。日系人の夫との間に息子2人、娘1人。趣味はウクレレとイラスト。

7

スピーカー



マレード・オフォード (Mairead Offord)

2004年両親が英語教師として日本へ移住することになり、8歳の時から岐阜県本巣郡北方町で育つ。キャンベラで小学校入学(1-4年生)し、その後岐阜県内で小学校・中学校・高校・大学課程を修了。日本語を母国語とする大人がいない家庭状況でもマレードは両親、友人、そして熱心な教師に支えられて言語を学び、日本語能力試験N1に合格。調理師免許取得。大学では心理学の学位を取得し、現在は大垣市の私立高校で英語講師として勤務。趣味は日本料理の食べ歩きとイラスト。オーストラリアと日本の文化の違いについて話します。

ビルグンデンベレル サインビレグ

モンゴル科学技術大学のツイニングプログラムから2018年の春、技科大1系の三年生として入学した留学生。一緒に入学した10人のモンゴル留学生の一人、モンゴル方面ではプログラムの学生会を立ち上げ、委員長として活躍していた。それ以外に国際ユースフォーラムでプレゼンやっていた経験あり、ディベート競争の経験がある



14

8

パートナー企業

sala

豊橋市



9

広報

2018年(平成30年)10月16日(火曜日) 14

独自のアイデアを紹介する米国のプレゼンテーションイベント「TED x」(テックス)が来月3月17日、豊橋市天竜町の豊橋技術科学大で開催される。三河地域では初の試み。企画した同大4年の今井裕太さん(22)は「東三河などで活躍する魅力的なプレゼンターを準備中で、ぜひ人生観が変わるような話を聞いてみてほしい」と話している。(五十幡将之)

技科大生企画 来春TEDx

豊橋技術科学大の学生が中心となり、来春3月17日に豊橋市天竜町の豊橋技術科学大で開催される「TEDx」の企画・実行を担う。企画・実行を担うのは、豊橋技術科学大4年の今井裕太さん(22)ら。今井さんは「TEDx」の魅力を語り、学生たちが活躍の場を持つことを目指している。今井さんは「TEDx」の魅力を語り、学生たちが活躍の場を持つことを目指している。今井さんは「TEDx」の魅力を語り、学生たちが活躍の場を持つことを目指している。

東三河版

生誕 K-83(1)
小野 和伸
昭和美術会所属
ニュース、情報誌「下野」
社 員 部
052-231-1552-5919
Eメール
shakun@shimichi.co.jp

豊橋市 440-0800
豊橋市/東通4-52-1
052-52-7181 Fax54-4055
岡 崎 支 店
0564-22-1861 Fax25-1554
豊 田 支 店
0565-24-1010 Fax25-1118
豊 田 支 店
053-88-2305 Fax82-1575
新 城 支 店
053-22-0242 Fax23-3811
豊 田 支 店
053-49-2437 Fax86-1405
豊 田 支 店
053-42-0289 Fax82-1577
豊 田 支 店
053-22-0289 Fax23-2889
中日新聞への2重見
052-221-0805 Fax221-0819
center@shimichi.co.jp
広告のお申し込みは
広報部三河支店センターへ
岡 崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
豊橋市の市役所広報課へ

必死で
あきらめず
やり
だす
努力
が
成功
の
鍵
だ
と
い
う
こ
と
を
し
め
し
め
て
く
だ
さ
い
と
い
う
こ
と
を
し
め
し
め
て
く
だ
さ
い

10月16日(火)付けの中日新聞・東三河版でTEDxの活動に関する記事の掲載を頂きました。

今後の予定

twitter
facebook
FM豊橋
TUTの定例記者会見
市役所の広報等

他TEDxイベントへの参加、交流



11

会議の様子



16

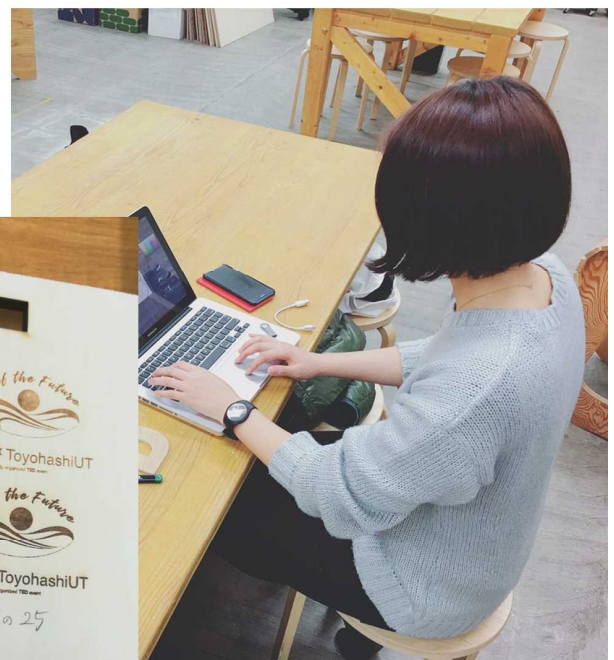
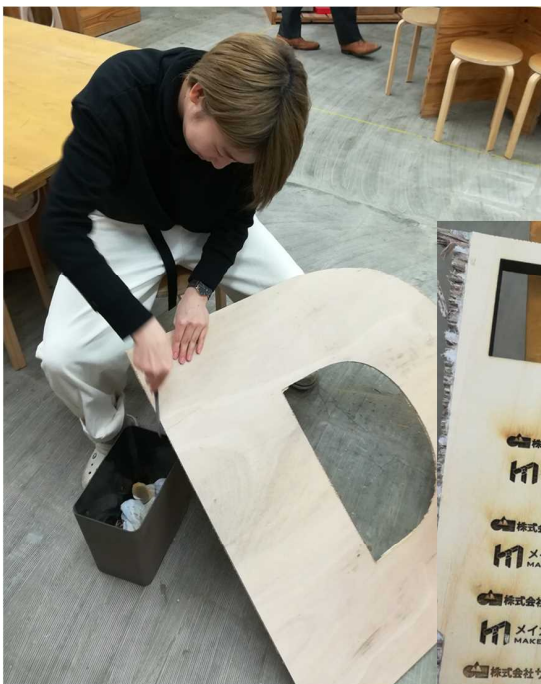
12

リハーサル



13

技科大生ならではのものづくり



17

14

技科大生ならではのものづくり



15

3月17日

豊橋技術科学大学にて

チケット ¥1500～

18

16

ご静聴ありがとうございました。

豊橋技術科学大学アカペラサークルJ.U.S.T.主催

<別紙4>

A Cappella Live



創立20周年を迎えたアカペラサークルJ.U.S.T.主催アカペライベント…
愛知・静岡県の学生サークルより14グループがリスト出演！
さらにボーカルエンターテインメントグループ、ダイナマイトしゃかりきサ〜カスさんをお招きしての、
総勢19グループによる最高のステージを皆様へお届けします！

日時：2019年 **3月12日（火）**

開場：13:30～

開演：14:00～

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

出演：栗、ひだまり、響、マツハジヨーンズ

リスト：華炎瓶、獅詩唐、ナニソラ、冷えピタ、やみつきパンダ、夜遊びシンデレラ、
Cheers!、Four Horsemen、Hi/Lo、MAMA、Muybien、Premony、
Sliced Salami、undercover（五十音順・敬称略）

スペシャルリスト：ダイナマイトしゃかりきサ〜カス

チケット：1,500円（ご予約・お取り置きはQRコードよりお進みください）



※駐車場は御座いません。公共交通機関や
お近くの公共駐車場をご利用ください。

お問い合わせ Mail : tut.just.contact@gmail.com / Twitter : @tut_just



平成31年2月15日

平成31年度 豊橋技術科学大学 ビジネススクール開講 ～Tokai-EDGE プログラムにおけるアントレプレナーシップ講義～

<概要>

平成29年度に名古屋大学を主幹校とし東海5大学(名古屋大学、豊橋技術科学大学、名古屋工業大学、岐阜大学、三重大学)が文部科学省の次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)に採択されたことを機に、本学では平成30年度から複数科目から成るアントレプレナー講義を開始しました。

平成31年度においても同様に開講致しますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

<詳細>

本学は、高専出身学生が全体の8割を占め、工学と技術に極めて強い学生が数多く在籍しております。平成30年度より、新たな試みとして専門の講師陣の下、社会人と学生が自由な雰囲気講義・実習を行うという全国でも特色のある体制でアントレプレナーシップ教育を推進しています。

社会の現実的な課題を基に、理論と実践を身に付け、将来我が国の経済を牽引し、イノベーションを創出・実装するような人材の輩出と、地域社会の発展に貢献することを目指しております。

起業意欲をお持ちの方、起業や新規事業立ち上げを支援する方など、学生と共に異分野の方々との出会い、議論の場におけるジナジー効果によるアイデア創出を期待しています。

本ビジネススクールは、「2019年度 社会人向け実践教育プログラム」に申請中です。

開講日時、受講料等に関しましては、会見当日配布のパンフレットに記載しています。



本件に関する連絡先

担 当：研究推進アドミニストレーションセンター 土谷徹 TEL:0532-44-6975
広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL:0532-44-6506

文部科学省研究大学強化促進事業

第6回豊橋技術科学大学シンポジウム

未来へのボーダレスな挑戦

～組織・地域の垣根を越えて～



豊橋技術科学大学
学長 大西 隆

豊橋技術科学大学は平成25年に研究大学強化促進事業採択校に認定され、価値創造工学に資する研究を進めてきました。平成28年に設置した「技術科学イノベーション研究機構」にて推進する産学官共同研究は、多くの成果を生み出しています。平成30年には「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)共創プラットフォーム育成型」に採択されました。今回のシンポジウムでは、「未来へのボーダレスな挑戦～組織・地域の垣根を越えて～」をテーマに、ご参加の皆様との議論を通して、価値創造イノベーション研究をさらに深化させたいと考えております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

2019年
3月26日(火)
13:00～17:40

会場 **ホテルアソシア豊橋**
5Fザ・ボールルーム
豊橋市花田町西宿(豊橋駅直結)
TEL:0532-57-1010(代表)
<http://www.associa.com/tyh/>

参加費：無料 情報交換会17:50～19:00
会費4,000円

定員

200名 ※定員に達し次第締め切りとさせていただきます

お申込方法

以下のURLよりお申込みください
<https://www.tut.ac.jp/event/190326-11533.html>

お申込QRコード



お申込期限

2019年3月20日(水)

お問い合わせ先

国立大学法人豊橋技術科学大学
研究推進アドミニストレーションセンター事務局
TEL:0532-44-1561
FAX:0532-44-6980
E-mail:office@rac.tut.ac.jp

プログラム

12:00 開場/受付開始 ポスター・デモ展示

開会挨拶

13:00 主催者挨拶 豊橋技術科学大学 学長 大西 隆

13:05 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課長 西條 正明 氏



西條 正明 氏

第1部 基調講演

13:30 招待講演

ICT・AI活用による農業・医療分野への参入
シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長 武藤 昌三氏

14:00 取組紹介①

新しい価値の創造と地域社会への貢献
～イノベーション協働研究プロジェクトがもたらしたもの～
豊橋技術科学大学 理事・副学長/技術科学イノベーション研究機構 機構長 寺嶋 一彦



武藤 昌三 氏

14:20 取組紹介②

産学共創で未来を拓く～マルチモーダルセンシング共創コンソーシアム～
(平成30年度「OPERA共創プラットフォーム育成型」採択)
豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授/OPERA領域統括 澤田 和明



寺嶋 一彦



澤田 和明

14:40～15:30 ポスター・デモ展示/コーヒーブレイク

第2部 研究紹介

15:30 **ビッグデータを活用した地域交通安全マネジメント**
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教 松尾幸二郎

15:45 **産学融合コンソーシアムによる小規模普及型バイオガス発電システム**
豊橋技術科学大学 グローバル工学教育推進センター 教授 大門 裕之

16:00 **電界結合ワイヤレス電力伝送**
豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター長 教授 大平 孝

第3部 パネル討論

16:20 **未来へのボーダレスな挑戦～組織・地域の垣根を越えて～**

◎モデレーター

・豊橋技術科学大学 学長 大西 隆

◎パネリスト

・文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課長 西條 正明 氏

・シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長 武藤 昌三 氏

・長岡技術科学大学 学長補佐/教授 中山 忠親 氏

・愛知県副知事 加藤 慎也 氏

・豊橋市長 佐原 光一 氏

・豊橋技術科学大学 副学長/研究推進アドミニストレーションセンター長 田中 三郎



中山 忠親 氏



加藤 慎也 氏



佐原 光一 氏



田中 三郎

17:40 閉会挨拶

17:50 情報交換会 (19:00終了)

主催:国立大学法人 豊橋技術科学大学
後援:日本経済新聞社名古屋支社



平成31年2月15日

平成30年度最終講義について(ご案内)

平成31年3月にて定年退職となる教員の最終講義についてご案内します。

(一般の方も聴講可能です。)

<詳細>

日 時：平成31年3月11日(月) 15:00～16:30

場 所：本学 A2-101講義棟

氏 名：機械工学系 教授 森 謙一郎

題 目：「研究はきびしい、けどおもしろい」

(自動車を中心とした生産加工の研究紹介と研究マネジメント)



平成9年(1997年)10月に大阪大学から生産システム工学系の教授として赴任し、塑性加工を、専門分野にして研究を続けてきました。

特に、自動車の燃費を向上する軽量化部品の成形技術は、世界的にリードしている研究であり、論文引用数が非常に多くなっています。

※当日、取材にも対応しますので、ご要望等ありましたら事前に

以下までご連絡ください。

本件に関する連絡先

担当者 教務課教務係 TEL: 0532-44-6545

広報担当：総務課広報係 前田・高柳 TEL: 0532-44-6506

平成31年（2019年）度 定例記者会見日程予定

第1回	4月23日（火） 11：00～
第2回	5月28日（火） 11：00～
第3回	6月25日（火） 11：00～
第4回	7月23日（火） 11：00～
第5回	9月17日（火） 11：00～
第6回	10月15日（火） 11：00～
第7回	11月19日（火） 11：00～
第8回	12月17日（火） 11：00～
第9回	1月21日（火） 11：00～
第10回	2月18日（火） 11：00～

場所はすべて本学大会議室（事務局3階）を予定しています。

場所、日程は現時点での予定であり、都合により変更場合があります。

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上